

# 謹賀新年

年頭のごあいさつ

美祢市長 村田 弘司



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、清々しい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平素から、市政推進に対し多大なご理解とご支援を賜っておりますことに、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は4年に1度のオリンピックがロンドンで開催され、わが国の選手も活躍しましたが、一方で、アメリカ・フランス・ロシア・韓国など主要国で大統領選挙が行われた年でもありました。中国においても新しい指導者が選定されております。

また、尖閣諸島の国有化に端を発した中国での反日デモ、日本製品の不買運動は記憶に新しいところです。韓国とも竹島をめぐる争いが表面化いたしました。これは、中国・韓国の経済発展、それに伴う国際影響力が大きくなってきたこと、また、わが国の国政の混乱、経済の低迷や、これに伴う国際的な地位の低下と無関係ではないと考えられます。

わが国においても11月に衆議院が解散し、12月16日に総選挙が行われたばかりですが、まずは、安定した政権運営が求められるところです。そして、安定政権の下、近隣諸国はもとより諸外国と良好な関係を築き、凛とした国体を内外に示すことが、低迷するわが国経済の回復や国際的な地位の向上にも繋がるものと考えます。

さて、本市におきましても4月に市長・市議会議員選挙があり、私がこれまでの4年間に引き続き今後4年間、市政の舵取りをさせていただくことになりました。

1期目に美祢市のまちづくりの指針であります第一次美祢市総合計画

を策定いたし、基本理念である「市民が『夢・希望・誇り』をもって暮らす交流拠点都市美祢市」を実現するため、5つの基本目標「安全・安心の確保」「観光交流の促進」「産業の振興」「ひとの育成」「行財政運営の強化」を定めております。

昨年は10年間の計画期間の3年目に当たりますが、市政運営の2期目に入り、基本目標を達成するための取り組みを一層力強く推進いたしました。主なものは次のとおりです。

3月には、美祢市ジオパーク推進協議会を設立し、ジオパーク活動への取り組みを本格的に始動いたしました。市民の皆様を対象に、本市の貴重な地質遺産を知っていただくためのセミナー、ガイドの育成講座、モニターツアー等を積極的に展開して参りました。本年、まずは日本ジオパークの認定に向けて取り組みを加速して参りますので、引き続き、市民の皆様のジオパーク活動へのご理解、ご協力をお願ひいたします。

6月には、美祢市立病院内に「山口大学医学部附属病院初期診療室」が設置され、山口大学の医師3人がそれぞれ週に1.5日間、主に初診や救急の患者を対象とした医療に従事されています。これにより美祢市立病院における医師不足の解消、また、本市の地域医療の充実につながり、市民の皆様に更なる安全・安心な医療の提供ができるようになったと考えております。

7月には、台湾の台北市にある台北世界貿易センター内に「美祢市台北観光・交流事務所」を開所いたしました。今後、この事務所を拠点として、台湾のニーズを直接把握するとともに、本市の魅力をリ

アルタイムに発信することにより台湾からの観光交流人口の拡大を図っていきたいと考えております。将来は、経済産業面での交流促進も併せて進めて参りたいと考えております。

なお、一昨年に台湾南投県と相互の交流の推進を確認する協定を締結いたしましたが、本年4月には南投県にある水里郷（市）と友好交流協定を締結する予定にしております。

10月には、第25回日本鍾乳洞サミットを本市において開催し、日本観光鍾乳洞協会に加盟する龍泉洞がある岩手県岩泉町やあぶくま洞がある福島県田村市など9つの行政、団体が一堂に会し、「外国人観光客の誘致対策にどう取り組むか」をテーマに発表・討論を行い、「美祢市台北観光・交流事務所などを活用し、東アジアを中心に観光鍾乳洞の魅力と安全性の正確な情報を発信し、外国人観光客の誘致に積極的に取り組む。」とする共同宣言を確認いたしました。

以上、昨年の主な取り組みを申し述べました。

本年も「市民が『夢・希望・誇り』をもって暮らす交流拠点都市美祢市」の実現に向けて、粉骨碎身、市政運営に取り組んで参る所存でありますので、市民の皆様にご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

昨年5月から広報の名称を「げんきみね」とし、カラー印刷に一新しましたように、本年の美祢市も元気があります。ご期待ください。

本年が、市民の皆様におかれまして、健康で喜びに満ちあふれた一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。